

## 運用報告書 (全体版)

第20期<決算日2020年8月17日>

### 世界好配当ピュア・インフラ株式ファンド (成長型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2010年8月30日から2025年8月15日までです。	
運用方針	配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド受益証券。
	世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド	新興国および日本を含む世界各国のインフラ関連企業が発行する上場株式(預託証券を含みます。)、株式に類似する権利およびインフラ関連の上場投資信託証券(以下総称して「株式等」といいます。)
運用方法	株式等の実質組入比率については、原則として高位を保ちますが、マーケット環境や資金動向を勘案して実質組入比率を投資信託財産の50%程度を下限として引き下げることがあります。	
組入制限	当ファンドの世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド組入上限比率	制限なし。
	世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンドの組入上限比率	株式等への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

愛称：グローバル・ポケット (成長型)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界好配当ピュア・インフラ株式ファンド (成長型)」は、2020年8月17日に第20期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## 世界好配当ピュア・インフラ株式ファンド（成長型）

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)		株式組入率	投資信託受益証券、投資証券組入率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期 (2018年8月15日)	22,520	10	9.4	567,723.36	9.8	91.1	4.4	755
17期 (2019年2月15日)	22,236	0	△1.3	559,489.04	△1.5	91.8	3.8	645
18期 (2019年8月15日)	22,648	10	1.9	559,159.23	△0.1	92.7	2.3	526
19期 (2020年2月17日)	27,086	10	19.6	649,166.15	16.1	93.3	2.2	514
20期 (2020年8月17日)	22,476	0	△17.0	517,001.91	△20.4	94.6	0.9	377

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入率」、「投資信託受益証券、投資証券組入率」は実質比率を記載しております。

(注3) Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算) は、Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total ReturnをアセットマネジメントOneが円換算したものです。Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Returnは、公表している機関の知的財産です。同機関は、当該指数の算出、公表、利用などに関する一切の権利を有しております。同機関はファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません（以下同じ）。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています（以下同じ）。

### ■当期中の基準価額と市況の推移

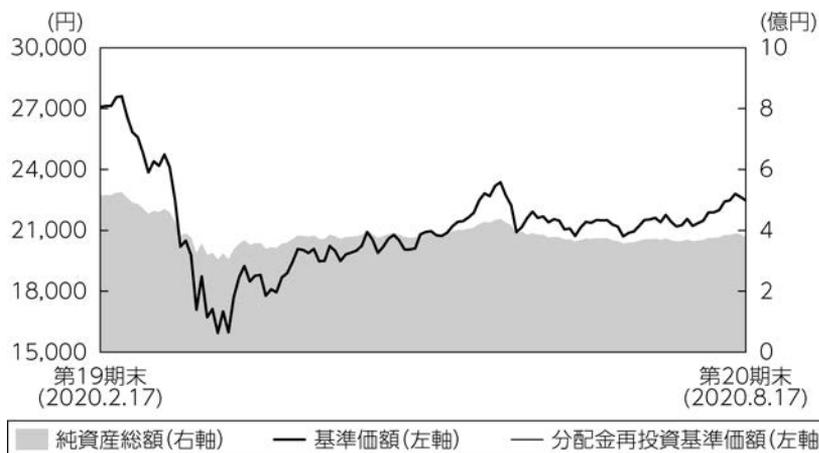
年月日	基準価額		Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)		株式組入率	投資信託受益証券、投資証券組入率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2020年2月17日	27,086	—	649,166.15	—	93.3	2.2
2月末	24,792	△8.5	588,873.47	△9.3	93.2	2.1
3月末	18,766	△30.7	439,454.45	△32.3	90.2	2.8
4月末	20,923	△22.8	488,964.45	△24.7	91.2	2.6
5月末	21,456	△20.8	506,709.32	△21.9	92.2	2.7
6月末	21,131	△22.0	492,293.15	△24.2	92.2	2.4
7月末	21,221	△21.7	493,992.33	△23.9	93.8	1.0
(期末)						
2020年8月17日	22,476	△17.0	517,001.91	△20.4	94.6	0.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入率」、「投資信託受益証券、投資証券組入率」は実質比率を記載しております。

## ■当期の運用経過（2020年2月18日から2020年8月17日まで）

### 基準価額等の推移



第20期首：27,086円  
第20期末：22,476円  
(既払分配金0円)  
騰落率：△17.0%  
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

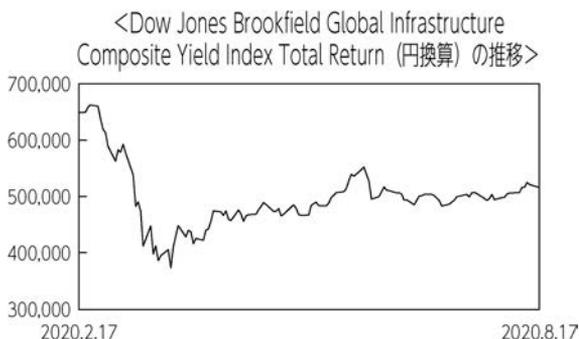
### 基準価額の主な変動要因

当期は世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を高位に組み入れ、株式要因および為替要因がともにマイナスに寄与し基準価額は下落しました。株式については、特に「石油・ガス貯蔵・配送」や「送配電設備」セクターなどの銘柄がマイナス寄与となりました。為替については、米ドルやカナダドルなどの投資通貨が対円で下落したため、基準価額に対してマイナスに寄与しました。

## 投資環境

グローバル株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大でロックダウン（都市封鎖）による経済活動の停滞から急落しました。しかし、2020年3月には世界各国の政府・中央銀行による財政・金融支援を受けて反発しました。5月以降、感染拡大が収束するなかで経済活動の再開やワクチン開発の進展などを好感し、続伸したことからほぼ急落前の水準まで回復しました。一方、グローバルインフラ株式市場は、グローバル株式を下回るパフォーマンスとなりました。

為替相場では米ドルや英国ポンドなど主要通貨に対して円高が進みました。新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の後退懸念から米ドルが円に対して急落する場面があったものの、大規模な財政・金融支援策を受けて反発しました。しかしながらF R B（米連邦準備制度理事会）による金融緩和策が長期化するとの見通しから米ドルは対円で弱含みの展開となりました。一方で、ユーロは、欧州復興基金の創設による欧州経済の回復期待から対円で上昇しました。



## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

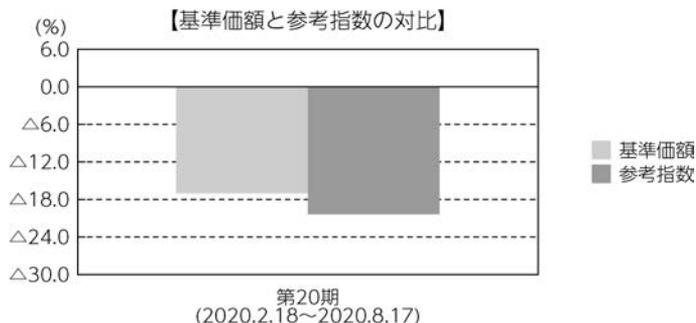
当ファンドは、マザーファンドを通じて主として世界のインフラ関連企業が発行する上場株式等に実質的に投資しています。当期を通じて概ねマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。第20期末時点のマザーファンドの組入比率は98.0%とし、実質株式等組入比率は、95.5%程度となりました。

### ●世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド

当期間、高配当利回りの安定的な実現と長期的な成長が見込めるピュア（純粋）なインフラ企業を重点的に選択しポートフォリオ構築を行いました。セクター別では、引き続き、パイプラインの投資需要が見込まれる北米の「石油・ガス貯蔵・配送」セクターやデータ通信需要の増加が恩恵となる欧州の「通信」セクターなどに注目し運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

## 分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2020年2月18日 ～2020年8月17日
当期分配金(税引前)	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	15,445円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金(税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続きマザーファンドの高位組み入れを通じて世界のインフラ関連企業が発行する上場株式などに実質的に投資を行い、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ●世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド

資産クラスとしてのグローバルインフラ株式は、緩和的な金融政策に加え、景気刺激策として検討されているインフラ投資が追い風になるとみられます。引き続き、割安と判断される魅力的な銘柄に厳選して投資を行っていきます。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の動向や米中関係の悪化などの地政学的イベントがグローバルインフラ株式に対してネガティブな影響を与える可能性があるため、注意を払っていく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第20期		項目の概要
	(2020年2月18日 ～2020年8月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	194円	0.919%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は21,148円です。
(投信会社)	(102)	(0.481)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 87)	(0.410)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 6)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.028	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 6)	(0.027)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	3	0.014	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 3)	(0.014)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.017	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 3)	(0.015)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	207	0.978	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

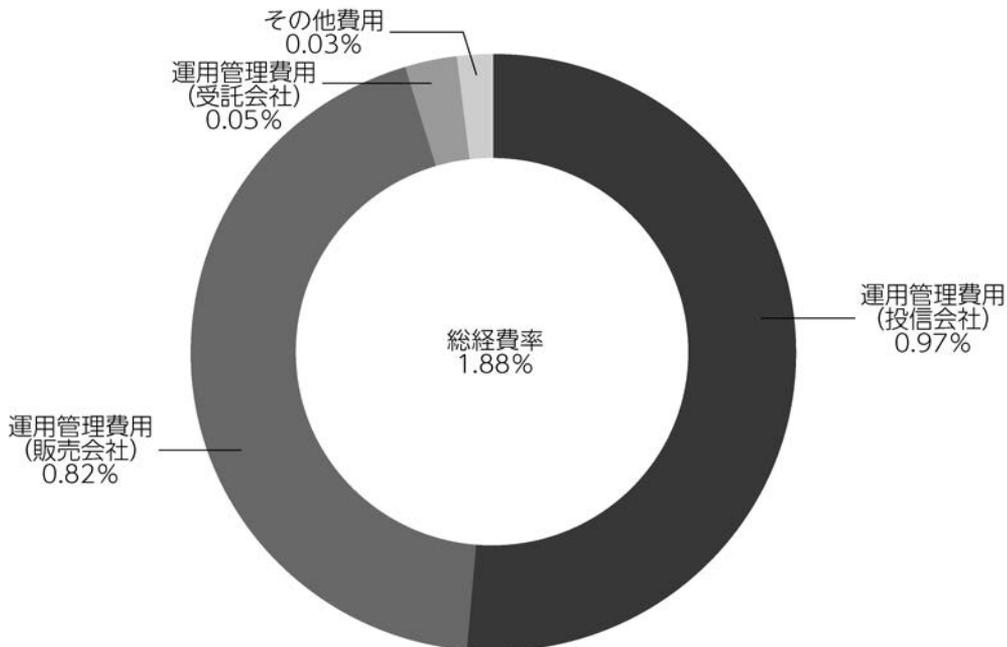
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年2月18日から2020年8月17日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド	1,529	3,600	20,030	51,300

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	6,803,138千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	18,786,042千円
(c) 売 買 高 比 率 ( a ) / ( b )	0.36

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2020年2月18日から2020年8月17日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド	155,045	136,544	369,818

## ■投資信託財産の構成

2020年8月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド	369,818	95.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,869	4.6
投 資 信 託 財 産 総 額	387,687	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、20,328,322千円、98.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年8月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.55円、1カナダ・ドル=80.34円、1オーストラリア・ドル=76.57円、1香港・ドル=13.75円、1イギリス・ポンド=139.56円、1スイス・フラン=117.18円、1ユーロ=126.20円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	387,687,765円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,869,464
世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド(評価額)	369,818,301
未 収 入 金	7,000,000
(B) 負 債	10,342,239
未 払 解 約 金	6,768,685
未 払 信 託 報 酬	3,566,751
そ の 他 未 払 費 用	6,803
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	377,345,526
元 本	167,888,432
次 期 繰 越 損 益 金	209,457,094
(D) 受 益 権 総 口 数	167,888,432口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	22,476円

(注) 期首における元本額は189,880,359円、当期中における追加設定元本額は661,783円、同解約元本額は22,653,710円です。

## ■損益の状況

当期 自2020年2月18日 至2020年8月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△2,128円
受 取 利 息	193
支 払 利 息	△2,321
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△73,405,404
売 買 益	11,865,257
売 買 損	△85,270,661
(C) 信 託 報 酬 等	△3,573,554
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△76,981,086
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	110,397,934
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	176,040,246
( 配 当 等 相 当 額 )	(144,999,570)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(31,040,676)
(G) 合 計(D+E+F)	209,457,094
次 期 繰 越 損 益 金(G)	209,457,094
追 加 信 託 差 損 益 金	176,040,246
( 配 当 等 相 当 額 )	(145,002,360)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(31,037,886)
分 配 準 備 積 立 金	114,314,319
繰 越 損 益 金	△80,897,471

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限を委託するために要する費用は、当期は世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド965,133円で、委託者報酬から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,916,385円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	145,002,360
(d) 分 配 準 備 積 立 金	110,397,934
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	259,316,679
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	15,445.77
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。

## 《お知らせ》

### ■寄付金について

第10回目の寄付金額等については次回の運用報告書に記載します。

**投資者のみなさまからいただく信託報酬の一部を、発展途上国を中心にインフラ改善などのために寄付します。**

- ・販売会社が当ファンドの投資信託財産から委託会社を通じて収受した信託報酬の一部は、発展途上国を中心にインフラ改善事業などに取り組む団体などに寄付を行い、当該団体などを通じてインフラ改善の復興支援活動などに役立てられます。
- ・寄付金額は、純資産総額に対して年率0.05%程度を目処とし、当ファンドの信託報酬のうち販売会社が受け取る部分から支払います。ただし、純資産総額の増減やその他の諸条件を勘案して、変更される場合があります。

# 世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド

## 運用報告書

第10期 (決算日 2020年8月17日)

(計算期間 2019年8月16日～2020年8月17日)

世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。株式等の銘柄選定にあたっては、市況動向や、個別企業のキャッシュフロー安定性、成長性、流動性、配当等を勘案して投資を行います。有価証券の運用指図に係る権限の全部または一部を、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。
主要投資対象	新興国および日本を含む世界各国のインフラ関連企業が発行する上場株式(預託証券を含みます。)、株式に類似する権利およびインフラ関連の上場投資信託証券(以下総称して「株式等」といいます。)
主な組入制限	株式等への投資割合には制限を設けません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)		株式組入比率	投資信託受益証券、投資証券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
6期(2016年8月15日)	22,015	△19.2	493,766.21	△13.7	90.6	5.8	30,895
7期(2017年8月15日)	25,638	16.5	561,115.48	13.6	92.7	5.0	42,655
8期(2018年8月15日)	26,210	2.2	567,723.36	1.2	93.0	4.5	32,615
9期(2019年8月15日)	26,834	2.4	559,159.23	△1.5	94.7	2.4	24,333
10期(2020年8月17日)	27,084	0.9	517,001.91	△7.5	96.5	0.9	20,677

(注1) Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算) は、Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return をアセットマネジメント One が円換算したものです。Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return は、公表している機関の知的財産です。同機関は、当該指数の算出、公表、利用などに関する一切の権利を有しております。同機関はファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません(以下同じ)。

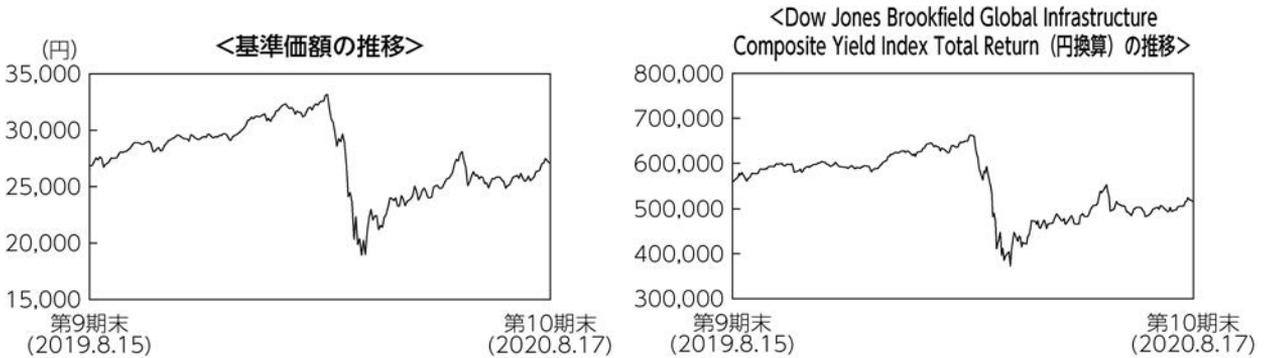
(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)		株式組入 率	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2019年 8 月 15 日	26,834	—	559,159.23	—	94.7	2.4
8 月 末	27,541	2.6	577,503.98	3.3	93.9	2.4
9 月 末	28,949	7.9	597,057.69	6.8	95.7	2.3
10 月 末	29,218	8.9	595,882.82	6.6	95.8	2.1
11 月 末	29,681	10.6	594,380.53	6.3	96.2	2.0
12 月 末	31,440	17.2	627,231.00	12.2	96.3	2.0
2020年 1 月 末	31,567	17.6	630,955.72	12.8	95.1	2.0
2 月 末	29,716	10.7	588,873.47	5.3	95.2	2.2
3 月 末	22,383	△16.6	439,454.45	△21.4	92.1	2.9
4 月 末	25,049	△6.7	488,964.45	△12.6	93.1	2.6
5 月 末	25,738	△4.1	506,709.32	△9.4	94.0	2.8
6 月 末	25,372	△5.4	492,293.15	△12.0	94.1	2.4
7 月 末	25,522	△4.9	493,992.33	△11.7	95.7	1.0
(期 末)						
2020年 8 月 17 日	27,084	0.9	517,001.91	△7.5	96.5	0.9

(注) 騰落率は期首比です。

## ■当期の運用経過（2019年8月16日から2020年8月17日まで）



### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は27,084円となり、前期末比で0.9%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界のインフラ関連企業が発行する上場株式等に投資します。銘柄選定では、企業の安定的なキャッシュフロー創出能力などに着目します。

当ファンドの運用指図権限の全部または一部をAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託しています。

### 投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。米中貿易摩擦懸念で反落する場面もあったものの、交渉進展期待や良好な経済指標などを背景に上昇基調を辿りました。2020年3月に、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞から急落しました。その後、世界各国の財政・金融支援を受けて反発し、経済活動の再開やワクチン開発の進展などを好感し、続伸しました。一方、グローバルインフラ株式市場は、ロックダウン（都市封鎖）の影響を大きく受けて劣後しました。

為替相場では主要通貨に対して円安となりました。米中関係悪化懸念などで米ドルが下落する局面もあったものの、投資家のリスク選好の動きが強まり主要通貨に対して円安傾向となりました。3月に新型コロナウイルスの感染拡大で米ドルが急落したものの、大規模な財政・金融支援策を受けて急反発し、その後は米国の金融緩和の長期化見通しから米ドルは弱含みの展開となりました。一方で、ユーロは、欧州復興基金の創設による欧州経済の回復期待から対円で上昇しました。

### ポートフォリオについて

期を通じて概ね株式の組み入れは高位を維持しました。期末では株式等組入比率は97.4%としました。

### 今後の運用方針

資産クラスとしてのグローバルインフラ株式は、緩和的な金融政策に加え、景気刺激策として検討されているインフラ投資が追い風になると見られます。引き続き、割安と判断される魅力的な銘柄に厳選して投資を行っていきます。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の動向や米中関係の悪化などの地政学的イベントがグローバルインフラ株式に対してネガティブな影響を与える可能性があるため、注意を払っていく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	16円	0.057%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有効証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(15)	(0.056)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(b) 有価証券取引税	5	0.020	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(5)	(0.020)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	34	0.124	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(8)	(0.030)	
(その他)	(26)	(0.094)	
合計	55	0.201	
期中の平均基準価額は27,522円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況 (2019年8月16日から2020年8月17日まで)

### (1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	ア メ リ カ	百株 13,046.58 (-)	千アメリカ・ドル 30,645 (△642)	百株 7,596.64	千アメリカ・ドル 21,949
	カ ナ ダ	百株 2,532.94 (-)	千カナダ・ドル 7,335 (-)	百株 5,760.88	千カナダ・ドル 20,517
	オ ー ス ト ラ リ ア	百株 21,298.9 (-)	千オーストラリア・ドル 6,418 (-)	百株 17,325.62	千オーストラリア・ドル 17,634
国	香 港	百株 70,049.04 (-)	千香港・ドル 28,605 (△516)	百株 3,840	千香港・ドル 2,258

		買 付		売 付		
		株 数	金 額	株 数	金 額	
外	イ ギ リ ス	百株 4,425.73 (469.85)	千イギリス・ポンド 4,096 (126)	百株 12,149.97	千イギリス・ポンド 14,393	
	ス イ ス	百株 28.53 (-)	千スイス・フラン 477 (-)	百株 -	千スイス・フラン -	
	ブ ラ ジ ル	百株 - (-)	千ブラジル・リアル - (-)	百株 2,014.11	千ブラジル・リアル 2,325	
国	ユ ロ コ	ベ ル ギ ー	百株 - (-)	千ユーロ - (-)	百株 35.02	千ユーロ 274
		ル ク セ ン ブ ル グ	百株 1,056.11 (-)	千ユーロ 1,237 (-)	百株 2,221.79	千ユーロ 1,618
		フ ラ ン ス	百株 314.78 (-)	千ユーロ 2,630 (-)	百株 71.12	千ユーロ 689
		ス ペ イ ン	百株 52.32 (3,395.92)	千ユーロ 129 (-)	百株 5,224.24	千ユーロ 5,115
		イ タ リ ア	百株 1,851.18 (-)	千ユーロ 971 (△39)	百株 2,764.64	千ユーロ 2,861

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託受益証券、投資証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORP	-	-	20.6	3,361
	(-)	(-)	(-)	(-)
AMERICAN TOWER CORP	-	-	4.544	1,102
	(-)	(-)	(-)	(-)

(注) 金額は受渡代金です。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	14,604,763千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	21,432,066千円
(c) 売 買 高 比 率 ( a ) / ( b )	0.68

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2019年8月16日から2020年8月17日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

### (1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
<b>(アメリカ)</b>	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
PINNACLE WEST CAPITAL CORP	–	425.27	3,317	353,437	電力	
SEMPRA ENERGY	1,040.96	1,072.34	14,143	1,506,946	総合公益事業	
CENTERPOINT ENERGY INC	1,839	4,471.66	9,184	978,639	総合公益事業	
GRUPO AEROPORTUARIO DEL SURESTE SAB DE CV ADR	149.23	326.7	3,786	403,481	運送インフラ	
NISOURCE INC	1,186	2,715.81	6,550	697,959	総合公益事業	
EDISON INTERNATIONAL	663.58	845.15	4,453	474,477	電力	
WILLIAMS COS INC	6,262.14	7,137.28	15,794	1,682,936	石油・ガス・消耗燃料	
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENTRO NORTE SAB DE CV ADR	239.31	–	–	–	運送インフラ	
KINDER MORGAN INC/DELAWARE	5,388.7	4,132.43	5,905	629,203	石油・ガス・消耗燃料	
SEMGROUP CORP	3,664.39	–	–	–	石油・ガス・消耗燃料	
EVERGY INC	919.41	–	–	–	電力	
PLAINS GP HOLDINGS LP	3,596.65	9,272.67	7,445	793,366	石油・ガス・消耗燃料	
小計	株数・金額	24,949.37	30,399.31	70,581	7,520,447	
	銘柄数<比率>	11銘柄	9銘柄	–	<36.4%>	
<b>(カナダ)</b>	百株	百株	千カナダ・ドル	千円		
ENBRIDGE INC	5,208.05	5,509.42	23,982	1,926,754	石油・ガス・消耗燃料	
TC ENERGY CORP	3,628.14	2,947.13	19,106	1,534,995	石油・ガス・消耗燃料	
GIBSON ENERGY INC	6,686	6,350.27	15,602	1,253,513	石油・ガス・消耗燃料	
PEMBINA PIPELINE CORP	2,955.78	2,739.19	9,666	776,614	石油・ガス・消耗燃料	
INTER PIPELINE LTD	1,632.04	1,995.49	2,791	224,284	石油・ガス・消耗燃料	
HYDRO ONE LTD	2,659.43	–	–	–	電力	
小計	株数・金額	22,769.44	19,541.5	71,149	5,716,163	
	銘柄数<比率>	6銘柄	5銘柄	–	<27.6%>	
<b>(オーストラリア)</b>	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円		
TRANSURBAN GROUP	4,864.34	–	–	–	運送インフラ	
APA GROUP	6,653.43	–	–	–	ガス	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	–	13,144.39	2,878	220,416	電力	
ATLAS ARTERIA LTD	8,779.84	11,126.5	7,265	556,327	運送インフラ	
小計	株数・金額	20,297.61	24,270.89	10,144	776,743	
	銘柄数<比率>	3銘柄	2銘柄	–	<3.8%>	

銘柄		期首(前期末)		当期		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)		百株	百株	千香港・ドル	千円	
	BEIJING ENTERPRISES WATER GROUP LTD	-	66,209.04	21,848	300,423	水道
小計	株数・金額	-	66,209.04	21,848	300,423	
	銘柄数<比率>	-	1銘柄	-	<1.5%>	
(イギリス)		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
	SEVERN TRENT PLC	1,915.07	616.61	1,546	215,823	水道
	NATIONAL GRID PLC	6,558.21	11,126.99	9,923	1,384,860	総合公益事業
	UNITED UTILITIES GROUP PLC	4,912.3	2,546.29	2,277	317,834	水道
	PENNON GROUP PLC	9,239.46	1,080.76	1,143	159,579	水道
小計	株数・金額	22,625.04	15,370.65	14,890	2,078,097	
	銘柄数<比率>	4銘柄	4銘柄	-	<10.0%>	
(スイス)		百株	百株	千スイス・フラン	千円	
	FLUGHAFEN ZUERICH AG	213.91	242.44	3,028	354,829	運送インフラ
小計	株数・金額	213.91	242.44	3,028	354,829	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<1.7%>	
(ブラジル)		百株	百株	千ブラジル・リアル	千円	
	ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	2,014.11	-	-	-	運送インフラ
小計	株数・金額	2,014.11	-	-	-	
	銘柄数<比率>	1銘柄	-	-	<->	
(ユーロ…ベルギー)		百株	百株	千ユーロ	千円	
	ELIA GROUP	164.24	129.22	1,175	148,398	電力
小計	株数・金額	164.24	129.22	1,175	148,398	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<0.7%>	
(ユーロ…ルクセンブルグ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
	SES FDR	1,165.68	-	-	-	メディア
小計	株数・金額	1,165.68	-	-	-	
	銘柄数<比率>	1銘柄	-	-	<->	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
	VINCI S.A.	1,101.44	1,110.24	8,924	1,126,222	建設・土木
	ADP	-	234.86	2,066	260,826	運送インフラ
小計	株数・金額	1,101.44	1,345.1	10,990	1,387,048	
	銘柄数<比率>	1銘柄	2銘柄	-	<6.7%>	

銘柄		期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…スペイン)		百株	百株	千ユーロ	千円	
	FERROVIAL SA	2,671.25	895.25	2,021	255,110	建設・土木
小 計	株 数 ・ 金 額	2,671.25	895.25	2,021	255,110	
	銘柄数 < 比率 >	1銘柄	1銘柄	-	<1.2%>	
(ユーロ…イタリア)		百株	百株	千ユーロ	千円	
	ATLANTIA SPA	1,429.64	1,265.67	1,800	227,212	運送インフラ
	ITALGAS SPA	-	1,851.18	1,049	132,461	ガス
	RAI WAY SPA	15,386.48	15,356.46	8,369	1,056,201	メディア
	INFRASTRUTTURE WIRELESS ITALIANE SPA	2,570.65	-	-	-	各種電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	19,386.77	18,473.31	11,219	1,415,876	
	銘柄数 < 比率 >	3銘柄	3銘柄	-	<6.8%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	117,358.86	176,876.71	-	19,953,139	
	銘柄数 < 比率 >	33銘柄	29銘柄	-	<96.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する各通貨別（ユーロは国別）株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

## (2) 外国投資信託受益証券、投資証券

銘柄		期首(前期末)		当 期 末		
		口 数	口 数	外貨建金額	邦貨換算金額	比 率
(アメリカ)		千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	%
	CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORP	20.6	-	-	-	-
	AMERICAN TOWER CORP	11.624	7.08	1,770	188,684	0.9
合 計	口 数 ・ 金 額	32.224	7.08	1,770	188,684	-
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄<2.4%>	1銘柄<0.9%>	-	-	0.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

## ■投資信託財産の構成

2020年8月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	19,953,139	96.5
投資信託受益証券、投資証券	188,684	0.9
コール・ローン等、その他	543,997	2.6
投資信託財産総額	20,685,820	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、20,328,322千円、98.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年8月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.55円、1カナダ・ドル=80.34円、1オーストラリア・ドル=76.57円、1香港・ドル=13.75円、1イギリス・ポンド=139.56円、1スイス・フラン=117.18円、1ユーロ=126.20円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	20,694,770,902円
コール・ローン等	435,721,660
株 式(評価額)	19,953,139,202
投資証券(評価額)	188,684,025
未 収 入 金	8,981,580
未 収 配 当 金	108,244,435
(B) 負 債	16,976,600
未 払 金	8,976,600
未 払 解 約 金	8,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	20,677,794,302
元 本	7,634,817,426
次 期 繰 越 損 益 金	13,042,976,876
(D) 受 益 権 総 口 数	7,634,817,426口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,084円

(注1) 期首元本額 9,068,402,844円  
追加設定元本額 376,611,892円  
一部解約元本額 1,810,197,310円

(注2) 期末における元本の内訳  
世界好配当ビュー・インフラ株式ファンド(毎月決算型) 342,579,253円  
世界好配当ビュー・インフラ株式ファンド(成長型) 136,544,935円  
ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型) 6,251,299,160円  
ワールド・インフラ好配当株式ファンド(成長型) 887,167,542円  
新光世界インフラ株式ファンド 17,226,536円  
期末元本合計 7,634,817,426円

## ■損益の状況

当期 自2019年8月16日 至2020年8月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	800,112,992円
受 取 配 当 金	800,301,946
支 払 利 息	△188,954
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△244,635,605
売 買 益	2,510,034,039
売 買 損	△2,754,669,644
(C) そ の 他 費 用	△6,745,715
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	548,731,672
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	15,265,579,786
(F) 解 約 差 損 益 金	△3,412,122,690
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	640,788,108
(H) 合 計(D+E+F+G)	13,042,976,876
次 期 繰 越 損 益 金(H)	13,042,976,876

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。